

計画段階評価対応方針

【港湾整備事業】

実施箇所	解決すべき課題等	達成すべき政策目標等	複数案との比較	対応方針
秋田港飯島地区	・洋上風力発電設備の効率的輸送・建設を可能とし、海洋再生エネルギーの導入を促進するため、電気機械(洋上風車部材)を輸入する大型船舶に対応する必要がある。	①電気機械を輸送する船舶への対応	・政策目標を達成するため、2つの対策案を立案した。 ・コスト、事業期間、技術的課題、運用面について比較評価を実施した。 【案①】飯島地区埠頭整備(「既存施設の改良」岸壁水深12m 延長230m) (事業実施による効果) ・電気機械を輸送する船舶への対応が可能。 【案②】飯島地区埠頭整備(「新設」岸壁水深12m 延長230m) (事業実施による効果) ・電気機械を輸送する船舶への対応が可能。 (事業実施に伴う課題) ・新規岸壁となるため、コストが高く、事業期間が長い。 ・プレジャーボート等との輻輳による利用者調整が必要となる。	【案①】による対策が妥当 【理由】概算コスト、他利用者との調整等において案①が優位であると考えられるため